

熊取町議会SNS（ソーシャルネットワークサービス）の導入検討について

R4. 12. 14

目的

熊取町議会では、町議会の活動状況をより迅速にわかりやすく、積極的に情報発信を行うことで、より開かれた議会を目指すことを目的として、議会SNSの導入を検討するもの。

アカウント情報

- ソーシャルメディアサービス : Facebook
- アカウント名 : 熊取町議会

運用管理者の例

- 運用管理者 : 熊取町議会議長
- 運用担当者 : 広報委員会委員（運用補助者 : 議会事務局職員）

掲載情報の範囲

- ①定例会、臨時会、委員会等の開催情報（本会議は11月よりLINEで案内開始）
- ②町議会の事業等に関する情報
- ③議会報告会等の活動に関する情報
- ④その他、運用管理者が必要と認める情報

運用方法等

- 対応時間：原則として平日の午前9時～午後5時30分
- コメントへの返信：原則として返答はしない。意見等は町公式WEBサイトのお問い合わせフォームで対応
- シェア等：原則として行わない。例外的に国や地方公共団体等の公共性の高い組織に限る。
- 個人情報の取り扱い：熊取町個人情報保護条例の規定に基づき対応

年間発信回数

- 年間で、約130回程度の発信が必要
（作成から発信まで1回掲載約30分必要（内容確認含む））

年間発信の詳細

① 定例会、臨時会、委員会等の開催情報、審議結果

【6月】	10日×掲載2回＝20回	(定例会4日、委員会4日、全協2日)
【9月】	15日×掲載2回＝30回	(定例会5日、委員会4日、決算審査4日、全協2日)
【12月】	10日×掲載2回＝20回	(定例会4日、委員会4日、全協2日)
【3月】	15日×掲載2回＝30回	(定例会5日、委員会4日、予算審査4日、全協2日)
【その他】	5日×掲載2回＝10回	(特別委員会5日)

合計 年110回

※参考 <LINEでの本会議の開催案内に係る作業について>

①議会事務局で案を作成⇒②総務課、広報戦略課でチェックと修正
⇒③最終的にLINE文面にする際に、広報戦略課が再度修正

② 町議会の事業等に関する情報（議会だよりの発行お知らせなど）

【議会だよりの発行・内容のお知らせ】 年4回

③ 議会報告会等の活動に関する情報（議会報告会、勉強会、行政視察情報など）

【議会報告会、政策検討勉強会、行政視察や出張報告】 年10回程度

④ その他運用管理者が必要と認める情報

【その他】 年2回程度

■合計 年126回掲載

期待できる成果など

【期待できる成果】

- SNSの活用でリアルタイムで情報発信が可能となり、より開かれた議会に資することができる。
- 議会の試算は『開催』と『審議結果』で行ったが、将来的には、『休憩』や『一般・会派質問』の状況などをリアルタイムで発信するなどの活用が見込める。

【留意すべき事項】

- 年約130回程度の発信が想定され、かつ、リアルタイムで発信を行うためには体制整備が必要（特に議会審議結果は当日中の掲載が必要）
- 議会報告会の報告や視察報告などは、当日中の作成の必要に加えて、当該議員による内容確認が必要
- 画像などの個人情報の取り扱い

【その他】

- Facebook、Twitter、LINE、Instagram、いずれも事務量はほぼ同じ。

結論（案）

- 現時点では、議員各々が情報発信を様々行っている中で、議会SNSについても気軽に簡単にできるものと想定していたが、調査の結果、事務作業等の負担が大きいことが判明した。
- したがって、今回の検討においては、導入を見送るものとする。
ただし、今後も情報発信は開かれた議会の推進に向けて必要不可欠であり、また、SNS技術も日進月歩であるため、導入に向けての検討は今後も継続して行うこととし、LINEによる本会議日程案内を令和4年1月議会から実施したように、できることは積極的に取り組んでいく。